

## Internet Explorer の脆弱性について（注意喚起）

4月26日 マイクロソフト社が発表したインターネット閲覧ソフト「Internet Explorer（バージョン6～11）」の脆弱性（安全性の問題）について、注意を喚起します。

今回、問題となっている脆弱性は、ユーザ（被害者）が攻撃者の管理下にある Web サイトを訪れることで攻撃者がユーザ（被害者）のコンピュータ上で悪意のあるプログラムコードを実行することができてしまうというものです。

今回に限らず、常日頃からインターネットの閲覧には十分に注意をし、操作をすることで事前に、事態を防ぐことが可能です。

今後も怪しいサイトへアクセスすることがないように、気をつけてご利用ください。

なお、本件については既にソフトウェア提供元であるマイクロソフト社でもセキュリティ更新プログラムの提供を開始し、対策が取られています。

（5月2日：日本時間）

平成26年5月8日  
情報センター管理室